



2020年11月11日

Press Release

AIG Japan Holdings
Kamiyacho MT Building, 3-20,
Toranomom 4-chome,
Minato-ku, Tokyo 105-0001
Japan

AIG ジャパンが 5 年連続で、 LGBTQ 指標「PRIDE 指標」の最高評価「ゴールド」を獲得

日本の AIG グループ(以下「AIG ジャパン」)は、5 年連続で、任意団体 work with Pride(以下「wwP」)による LGBTQ 指標「PRIDE 指標」の最高評価「ゴールド」を獲得しました。

work with Pride



PRIDE 指標は、「行動宣言」「当事者コミュニティ」「啓発活動」「人事制度、プログラム」「社会貢献・渉外活動」の 5 項目により LGBTQ などの性的マイノリティに関する企業の取組みを評価するものです。

AIG ジャパンは、これまでも「性的指向を含む多様性を受容し尊重するダイバーシティ&インクルージョン推進の方針を社員の行動規範に定め、社外にも公表する」「各地のプライドパレードへの参加と支援」「社員ネットワーキンググループによるボトムアップとシニアマネジメントを中心とする D&I カウンシルによるトップダウンの双方向からの活動」「就職説明会や各種研修の場での LGBTQ+*への理解や配慮に関する内容や方針を説明」「福利厚生制度における同性婚の追加」といったさまざまな活動を行ってまいりました。さらに新しく実施された下記のような取組みが評価され、今年も「ゴールド」を獲得することができました。

- 毎年 10 月は AIG の「ダイバーシティ月間」としてさまざまな社内イベントを開催しているが、2019 年は AIG 本社の CEO と AIG ジャパンの CEO 自らがダイバーシティ&インクルージョンの重要性を語る「カルチャーセッション」も開催。
- 社内ネットワーキンググループ「LGBTQ+ & Allies Rainbow ERG」が月刊で社員向けメルマガの配信を開始。Web 会議システムを活用した、社員向けイベントや次世代を担う子どもたち育成に向けた絵本の読み聞かせボランティアなどを実施。



AIG ジャパンの経営陣を中心としたダイバーシティ&インクルージョン・カウンシルの Co-Chairperson を務める AIG ジャパン・ホールディングス株式会社 取締役の首藤 透は今回の表彰を受けて次のように述べています。「5年連続で AIG のダイバーシティ&インクルージョンに関する取組みを評価いただけたことを大変名誉に感じています。LGBTQ+をはじめ、多様性は、私たち社員にとってもビジネスにおいても考慮すべき重要なことです。私たちが異なることをより受容的かつ前向きに受け入れ、『多様性こそ強さ』だと心から信じて力を合わせることは、安心かつより革新的で全員が温かく迎え入れられていると感じる職場をつくることにつながります。私たちは多様性を高めることで、お客さまに対してより最適なソリューションを提供し続けていきます。」

また、同じく Co-Chairperson を務める AIG ハーモニー株式会社 代表取締役社長兼 CEO の西田 直樹は「多様性を受け入れるということは、一人一人の個性を活かすということです。LGBTQ+だけではなく、周りのさまざまな個性・多様性を受け入れ、尊重することで、一人一人が活躍できる環境、真のチームワークが生まれます。そういった AIG ジャパンの想いがこうして今年も評価されたことを大変嬉しく思っています。」と述べました。

AIG ジャパンは、グローバルにビジネスを展開する AIG グループの一員として、さまざまなお客さまのリスクマネジメントを支援すべく、今後も社員やお客さまの多様性を尊重してまいります。

*弊社では、より多様な性的マイノリティを包含する表現である「LGBTQ+」と表記して取組みを進めています。

<AIGについて>

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、80以上の国や地域で損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客さまの資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。持株会社 AIG, Inc.はニューヨーク証券取引所に上場しています。

日本では、AIG損害保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、ジェイアイ傷害火災保険株式会社、AIGパートナーズ株式会社、テックマークジャパン株式会社などが事業を展開しています。